

出産育児一時金等の代理申請・受取請
求に係る記録条件仕様
＜支払早期化対応分＞

（保険者 ー 支払機関）

平成22年7月

厚生労働省

1 データ交換の種類

支払機関（国民健康保険団体連合会（以下「国保連」という。）及び社会保険診療報酬支払基金（以下「支払基金」という。）をいう。以下同じ。）と保険者との間で、交換情報の授受を実現するためのデータ交換方式は次の通りである。

- ・ CD-R（コンパクトディスク）によるデータ交換

2 インタフェース仕様

2.1 交換情報の仕様

(1) 媒体仕様

ア CD-R（コンパクトディスク）

(ア) 媒体及び物理フォーマット

J I S T S X 0 0 2 5 - 2 0 0 5の規格に適合する120mmコンパクトディスクを使用する。

(イ) 論理フォーマット

論理フォーマットはISO9660形式（レベル1）に準拠する。

書き込みは、ディスクアットワンス（シングルセッション方式）方式とする。

(ウ) ファイル構成

光ディスクのファイル構成は以下に規定するものを除きJ I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7に準拠する。

a ルートディレクトリのディレクトリ項目は以下のとおりとする。

(a) ボリュームラベル項目の有無は任意とする。

(b) サブディレクトリ指示項目はあってはならない。

(c) ディレクトリ項目のうち使用中のファイル項目を以下に示す。

ファイル名は保険者番号（8桁）とし、拡張名を”csv”とする。

ただし、25日請求分については拡張名を”cs2”とする。

文字位置	名前	内容	
1～8	名前（1～8桁目）	保険者番号を記録する。 8桁に満たない場合は前に0を付して8桁とする。	
9～11	拡張名	10日請求分	“CSV”
		25日請求分	“CS2”
12	属性	(00)又は(20)	
13～22	予約	J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7に準拠	
23～24	記録時刻	J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7に準拠	
25～26	記録日付	J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7に準拠	
27～28	先頭クラスタ番号	J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7に準拠	
29～32	ファイル長	J I S X 0 6 0 5 - 1 9 9 7に準拠	

注1 16進数は、0から9及びAからFを括弧でくくって表現する。

注2 その他のディレクトリ項目はすべて空きディレクトリ項目でなければならない。

(2) レコード形式

ア レコード形式は可変長レコードとし、各レコードの末尾には改行コードを記録する。

イ レコードにおける各項目間は、項目の区切りを示す1バイトの文字列（以下「コンマ」という。）で区切り識別する。

ウ 各項目は最大バイト数を規定するのみとする。項目形式が固定の項目については最大バイト数までの記録を必須とする。

項目形式が可変の項目で記録内容が最大桁数に満たない場合は、有効桁数までの記録としても差し支えないものとする。

エ モード毎の有効桁の判断は次のとおりとする。

属性	有効桁の判断
数字	上位桁のゼロを除いた数字（但し項目形式が固定の場合は前ゼロを付加する）
英数	有効文字以降に継続する“英数スペース”を除いた英数カナ文字
漢字	有効文字以降に継続する“漢字スペース”を除いた漢字文字

※属性「英数」は英数カナ文字を表すが、以降の表の表記上「英数」と表す。

オ 内容を表現する文字の符号

内容を記録する文字の符号は、JISX0201-1976の8単位符号及びJISX0208-1983の附属書1にて規定されているシフト符号化表現（シフトJIS）によるものとする。

なお、内容を記録する文字以外の制御符号は、次のとおりとする。

符号名称	図形記号	16進数	最大バイト数	用途
コンマ	,	(2C)	1	項目の区切りを表現する。
引用符	"	(22)	1	使用しない
改行コード		(0D) (0A)	2	レコードの区切りを表現する。
EOFコード		(1A)	1	ファイルの終わりを表現する。
疑問符（全角）	?	(81) (48)	2	使用しない。（JIS規格外コードが記録された場合、疑問符（全角）に置換する。）

(3) ファイルフォーマット

医療機関等との交換情報のファイルは、以下の3種類のレコードから構成される。

・コントロールレコード

ファイルの先頭（第一レコード）に作成し、交換情報の識別、レコード件数、送付元等の制御情報を設定する。

・データレコード

ファイルの第二レコード以降に作成し、交換情報のデータを設定する。

・エンドレコード

ファイルの最終レコードとして作成し、交換情報の終端を表す。

コントロールレコード	}	ファイルの第一レコード
データレコード		
.....	}	ファイルの第二レコード以降のレコード
データレコード		
エンドレコード		
	}	ファイルの最終レコード

(4) レコードフォーマット

各レコードはCSV形式で作成する。

・コントロールレコードフォーマット

項番	項目	属性	最大 バイト数	項目 形式	内容
1	レコード種別	数字	1	固定	コントロールレコードを示す1を設定する。
2	請求元番号	数字	1	固定	1（支払基金）、2（国保連合会）、 3（国保連合会 25日請求分） を設定する。
3	レコード番号（連番）	数字	9	可変	ファイル内の先頭レコードからの連番（1から始まる通番）を設定する。 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる。
4	ボリューム通番	数字	3	可変	ボリュームに対して付与する番号。 ボリュームにまたがらない単独のファイルの場合は0を設定する。 マルチボリュームファイルの場合は先頭ボリュームからの連番（1から始まる通番）を設定する。
5	レコード件数	数字	9	可変	データレコードの件数を設定する（コントロールレコードおよびエンドレコードの件数は加算しない。）。 マルチボリュームファイルの場合、分割されたそれぞれのファイル内でのデータレコード件数を設定する。
6	保険者番号	数字	8	固定	保険者番号8桁で設定する
7	請求年月	数字	5	固定	年号区分コードを含め、数字“GYMM”の形式により設定する（医療機関等が支払機関に請求書の提出をした年月を記載する。） ※ 支払機関から保険者への請求年月を設定する。 ただし、以下2. 2データレコードの「請求年月」については、支払基金は、「出産年月」を記録する。

項番	項目	属性	最大 バイト数	項目 形式	内容
					国保連合会は、医療機関等から医療機関等が支払機関に請求書の提出をした年月を記載する。
8	ファイル管理番号	数字	6	可変	マルチボリュームファイルの場合にのみ意味を持つ作成するファイル単位に一意的な値を設定（分割された複数のファイルは全て同じ管理番号となる）

注 GYYMM の G は年号区分コード（別表4）、YY は和暦年、MM は月を示す。

・データレコードフォーマット

項番	項目	属性	最大 バイト数	項目 形式	内容
1	レコード種別	数字	1	固定	データレコードを示す2を設定
2	レコード番号（連番）	数字	9	可変	ファイル内の先頭レコードからの連番（1から始まる通番）を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる
3	データ				交換情報ごとに、CSV形式でデータを設定 設定する内容は、各交換情報の「項目説明」を参照

・エンドレコードフォーマット

項番	項目	属性	最大 バイト数	項目 形式	内容
1	レコード種別	数字	1	固定	エンドレコードを示す3を設定
2	レコード番号（連番）	数字	9	可変	ファイル内の先頭レコードからの連番（1から始まる通番）を設定 マルチボリュームファイルの場合、マルチボリューム全体での通番となる

2. 2 データレコード

2. 2. 1 出産育児一時金等請求情報

(1) 10日請求分については、以下のとおりとする。

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	7111	出産育児一時金等請求書情報	支払機関から出産育児一時金等請求を行う際に提出する保険者単位の集計情報。	支払機関 → 保険者	月次	磁気

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(2)	7121	出産育児一時金等代理申請・受取請求書情報	支払機関から出産育児一時金等に係る請求を行う際に提出する被保険者等単位の明細情報。	支払機関 → 保険者	月次	磁気

(2) 25日請求分については、以下のとおりとする。

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	7112	出産育児一時金等請求書情報	支払機関から出産育児一時金等請求を行う際に提出する保険者単位の集計情報。	支払機関 → 保険者	月次	磁気
(2)	7122	出産育児一時金等代理申請・受取請求書情報	支払機関から出産育児一時金等に係る請求を行う際に提出する被保険者等単位の明細情報。	支払機関 → 保険者	月次	磁気

2. 2. 2 出産育児一時金等請求書情報

項番	項目名	属性	最大バイト数	項目形式	内容	必須入力	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	固定	交換情報識別番号を設定する。	○	“7111”又は“7112”
2	請求年月	数字	5	固定	年号区分コードを含め、数字“GYMM”の形式により設定する。	○	※支払基金「出産年月」を記録する。 ※国保連合会医療機関等が支払機関に請求書の提出をした年月を記載する。
3	保険者番号	数字	8	固定	保険者番号8桁で設定する	○	
4	件数	数字	6	可変	請求件数の合計を設定する。	○	
5	出産数	数字	6	可変	出産数の合計を設定する。	○	
6	出産育児一時金等代理受取額合計	数字	12	可変	出産育児一時金等代理受取額の合計額を設定する。	○	

※ GYMM の G は年号区分コード（別表4）、YY は和暦年、MM は月を示す。

2. 2. 3 出産育児一時金等代理申請・受取請求書情報（複数レコード）

項番	項目名	属性	最大バイト数	項目形式	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	固定	交換情報識別番号を設定する。	“7121” 又は “7122”
2	請求区分	数字	1	固定	請求区分（別表1）を設定する。	
3	保険者番号	英数	8	固定	保険者番号を設定する。	
4	請求年月	数字	5	固定	年号区分コードを含め、数字“GYMM”の形式により設定する。（医療機関等が支払機関に請求書の提出をした年月を記載する。）	
5	分娩区分	数字	1	固定	1（正常分娩）または2（異常分娩）を設定する。	
6	医療機関番号	数字	10	固定	都道府県番号（別表2）+点数表コード（別表3）+医療機関コードの10桁で設定する	
7	分娩機関管理番号	数字	10	固定	産科医療補償制度加入時に（財）日本医療機能評価機構より受けた管理番号を記録する。	
8	加入制度区分	数字	1	固定	1（社会保険加入）または2（国民健康保険加入）を設定する。	
9	本人・家族区分	数字	1	固定	1（本人）または5（家族）を設定する。	

項番	項目名	属性	最大バイト数	項目形式	内容	備考
10	被保険者証記号	英数 又は 漢字	40	可変	<p>1 被保険者証（日雇特例被保険者の受給資格者票又は特別療養費受給票若しくは国民健康保険被保険者資格証明書を含む。）等の「記号及び番号」欄の記号を左づめに記録する。</p> <p>2 38バイトまでの記録とする。</p> <p>3 記録する記号が38バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。</p> <p>4 英数モードと漢字モードの文字を混在して記録しない。</p> <p>5 英数モードで記録する場合は、有効桁数を最大19桁以内で記録する。</p> <p>6 番号のみ設定されている場合は、記録を省略する。</p>	漢字の場合は番号の記録バイトと合わせて38バイト（19桁）以内とする。 英数の場合は番号の記録バイトと合わせて19バイト（19桁）以内とする。
11	被保険者証番号	英数 又は 漢字	40	可変	<p>1 被保険者証（日雇特例被保険者の受給資格者票又は特別療養費受給票若しくは国民健康保険被保険者資格証明書を含む。）等の「記号及び番号」欄の番号を左づめに記録する。</p> <p>2 38バイトまでの記録とする。</p> <p>3 記録する記号が38バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。</p> <p>4 英数モードと漢字モードの文字を混在して記録しない。</p> <p>5 英数モードで記録する場合は、有効桁数を最大19桁以内で記録する。</p>	漢字の場合は記号の記録バイトと合わせて38バイト（19桁）以内とする。 英数の場合は記号の記録バイトと合わせて19バイト（19桁）以内とする。

項番	項目名	属性	最大バイト数	項目形式	内容	備考
12	妊婦氏名	漢字	40	可変	<p>1 姓名を記録する。</p> <p>2 姓と名の間に“スペース”を1桁記録する。</p> <p>3 姓名が40バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。</p> <p>4 全角カナとして記録。</p>	
13	生年月日	数字	7	固定	当該妊婦の生年月日について、和暦の年号区分コードを含め、数字“GYMMDD”の形式により設定する。	
14	在胎週数	数字	2	可変	在胎週数を記録する。	
15	出産年月日	数字	7	固定	和暦の年号区分コードを含め、数字“GYMMDD”の形式により設定する	
16	死産有無	数字	1	固定	1（死産）2（死産でない）3（混在）のいずれかを設定する	
17	出産数	数字	1	固定	出産のあった児の数を記録する。	
18	入院日数	数字	3	可変	当該医療機関等に入院していた日数を記録する。	
19	産科医療補償制度対象分娩区分	数字	1	固定	1（対象分娩）2（対象分娩でない）3（混在）のいずれかを設定する	
20	入院料	英数	9	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	注1
21	室料差額	英数	9	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	注1

項番	項目名	属性	最大 バイト数	項目 形式	内容	備考
22	分娩介助料	英数	9	可変	正常分娩時は、null。 異常分娩であって、相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	注1 異常分娩（分娩に係る異常が発生し、鉗子娩出術、吸引娩出術、帝王切開術等の産科手術又は処置等が行われ、当該診療行為に係る診療報酬明細書において特記事項に「25 出産」と記載されたもの）時のみ記録する。
23	分娩料	英数	9	可変	異常分娩時は、null。 正常分娩であって、相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	注1 正常分娩（分娩が療養の給付の対象とならなかった場合）時のみ記録する。
24	新生児管理保育料	英数	9	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	注1
25	検査・薬剤料	英数	9	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	注1
26	処置・手当料	英数	9	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	注1
27	産科医療補償制度	英数	7	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	注1
28	その他	英数	9	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	注1
29	一部負担金等	英数	9	可変	相当費用が発生していない場合は、0（ゼロ）を設定する。	注1
30	妊婦合計負担額	英数	9	可変		注1
31	代理受取額	英数	9	可変		注1

項番	項目名	属性	最大バイト数	項目形式	内容	備考
32	備考	英数 又は 漢字	60	可変	医療機関が記録したものを設定する。	
33	予備	英数	100	可変		

※ GYYMMDD、GYMM の G は年号区分コード（別表4）、YY は和暦年、MM は月、DD は日を示す。

注1 過誤調整分は負符号（-）を付加して記録する。

別表1 請求区分コード

コード名	コード	コード内容
請求区分コード	1	電子媒体による出産育児一時金等代理申請・受取請求書情報の請求
	2	紙による出産育児一時金等代理申請・受取請求書情報の請求
	3	出産育児一時金等代理申請・受取請求書情報の過誤調整分

別表2 都道府県コード

コード名	コード	コード内容
都道府県コード	01	北海道
	02	青森
	03	岩手
	04	宮城
	05	秋田
	06	山形
	07	福島
	08	茨城
	09	栃木
	10	群馬
	11	埼玉
	12	千葉
	13	東京
	14	神奈川
	15	新潟
	16	富山
	17	石川
	18	福井
	19	山梨
	20	長野
	21	岐阜
	22	静岡
	23	愛知
	24	三重
	25	滋賀
	26	京都
	27	大阪

	28	兵庫
	29	奈良
	30	和歌山
	31	鳥取
	32	島根
	33	岡山
	34	広島
	35	山口
	36	徳島
	37	香川
	38	愛媛
	39	高知
	40	福岡
	41	佐賀
	42	長崎
	43	熊本
	44	大分
	45	宮崎
	46	鹿児島
	47	沖縄

別表3 点数表コード

コード名	コード	コード内容
点数表コード	1	医科
	0	助産所

別表4 年号区分コード

コード名	コード	コード内容
年号区分コード	1	明治
	2	大正
	3	昭和
	4	平成